

単元名 5 筋道を立てて 一話題や展開を捉えて話し合おう

配当時間 4時間

単元の目標

- (2) 自分の意見とその根拠を明らかにし、話し合いの話題や流れを的確に捉えて話し合うことができる。
- (3) 日常生活の課題について意見をもち、協力して意見交換をしようとする。

標準的な展開例

10210212_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 グループ・ディスカッションについて知り、学習の流れをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ グループ・ディスカッションについて知り、話し合いに必要な発想の広げ方、考えの深め方を学ぼう。 ○ 「『よい話し合い』とは」(p.147)を読み、話し合いの形式を理解する。 ○ 「話し合いの話題を決め、目的を明確にする」(p.146)を読み、話し合う話題について考える。 ○ 「自分の考えをまとめる」(p.147)を読み、考えをまとめるためのメモの仕方を学ぶ。 <p>2 グループ・ディスカッションの流れをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ グループ・ディスカッションの流れを知ろう。 ○ 「グループで話し合う」(p.148)をCDで聞き、グループ・ディスカッションの流れを把握する。 ○ 「意見を結び付けて、結論をまとめる」(p.149)の発言を読み、分析する。 ○ 「話し合いの結果を報告する」(p.149)を読み、報告の仕方を知る。 <p>3 話し合う話題を見つけ、話題に対しての自分の意見と根拠を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 日常生活から話し合いにふさわしい話題を見つけ、自分の意見をもとう。 ○ 日常生活の中から、話し合いにふさわしい話題を見つける。 ○ 話題に対する自分の意見をもつ。 ○ 自分の意見について、根拠、問題点、解決法について見直し、説得力のある意見とする。 <p>4 グループ・ディスカッションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ グループディスカッションを実施しよう。 ○ グループ・ディスカッションの目的、話題、役割を確認する。 ○ グループごとに、30分ほどグループ・ディスカッションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ・ディスカッションの形式を理解させる。 ・ 「発想を広げる」(p.272)の、意見・主張・討論の話題に着目させる。 ・ 話し合ってみたい話題に印を付けさせる。 【評】話題について考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 「話題」「意見」「根拠」の三つについて確認する。 ・ 「模造紙や付箋を使って、出し合った意見を整理する」(p.148)も参照するとよい。 ・ CDを聞き、どのような意見が出されているかに注意してメモを取らせる。 【評】CDを聞き、メモを取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 話し合いの流れの中でどのような意味をもつ発言なのかを考えさせる。 ・ 以下の4点を着目させる。 <ul style="list-style-type: none"> ① 話題の確認 ② 意見とその根拠 ③ 質問する観点 ④ 意見の整理 ・ 司会者に着目させ、その役割について説明する。 ・ グループ・ディスカッションの後に報告があることを知らせる。 ・ 学校生活や日常生活における課題、改善策を導き出せそうな話題を選ばせる。 ・ 個人で考えさせたあとに、学級全体で参加者の問題意識が高いものを話題として選ぶようにさせる。 【評】話し合いの話題を見つける活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する ・ 話題に対して自分の意見をもたせる。 ・ 自分の意見と根拠となる事実、体験をまとめさせる。 ・ 「知多の友」を使用する。 ・ どんな話題に対して意見を交換し、結論を出すのかという目的や、留意点、役割分担を確認させる。 ・ 司会者には、全員が話題に対して意見交換できるように進めていくようにさせる。 ・ 発言者が自分の意見や立場、その根拠を簡潔に説明できるよう机間指導する。 ・ 聞き手には「知多の友」を使用してメモを取り、自分の意見と比べながら聞いたり、それ

- 「話し合いの結果を報告する」(p.149)を参考にして、グループ・ディスカッションの結果を報告する。

を踏まえて発言したりするようにさせる。
【評】グループ・ディスカッションを行う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する

- ・内容と根拠についてまとめ、発表させる。
- ・解決しない問題点については、具体的に報告できるようにメモをさせる。

【 備 考 】

論理的な表現は、展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり、書いたりする場合はもちろんのこと、話し合う際にも、議論の中心となる論点を明確に捉えておくことは大切である。論点が明確でないと理解する場合も表現する場合もすれ違いが生じ、考えを深めることができなくなる。ここでは、論点を明確にすることを通して、読んだり書いたり話し合ったりしながら、考えを深めていく学習をする。